

多摩市地域自立支援協議会 令和5年度第8回 会議録

日 時	令和6年2月20日(火) 18:30~20:30	場 所	多摩市役所本庁舎 301・302 会議室
出席者 (敬称略)	委員 ※敬称略	荒井、市川、植草、大石、折笠、角川、北山、佐藤、瀬尾、登坂、藤吉、中原、野路、松澤、吉井 WEB参加:川辺	
	障害福祉課 (事務局)	平松、平林、仙北屋、上野、今野 都市計画課、スポーツ振興課、 東京ヴェルディ	
欠席者	委員 ※敬称略	山田、山本	
記録者	事務局		
項目	<p>開会</p> <p>1 多摩市都市計画マスタープランに関する意見募集について【資料2】</p> <p>2 多摩市障がい者基本計画等について【資料3~5】</p> <p>3 (仮称)多摩市手話言語条例について【資料6】</p> <p>4 その他</p> <p>閉会</p> <p>○ 配布資料</p> <p>【資料1】委員名簿</p> <p>【資料2】多摩市都市計画マスタープランの改定について</p> <p>【資料3】計画原案</p> <p>【資料4】概要版(案)</p> <p>【資料5】わかりやすい版(案)</p> <p>【資料6-1】(仮称)多摩市手話言語条例の策定進捗について</p> <p>【資料6-2】多摩市手話言語条例に関するアンケート調査報告書(抜粋)</p> <p>当日配布</p> <p>次第</p> <p>チラシ ・パークライフショー</p> <p>・東京ヴェルディ 障がい者スポーツ体験教室</p> <p>・第5回チーム医療推進学会</p>		

詳細	
<p>東京ヴェルディ 障がい者スポーツ体験教室</p> <p>1 多摩市都市 計画マスタープランに関する意見募集について 【資料2】多摩市都市計画マスタープランの改定について</p>	<p>～開会～</p> <p>事務局より障がい者スポーツ体験教室参加募集について説明 以下。「・」は委員からのご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常学級の子どもたちと障がいのある子どもたちを上手にまとめていただいて、障害理解に一役買っていたらいい。是非、皆様ご参加をよろしく願います。 ・年間スケジュールをご確認いただき、積極的なご参加をよろしく願います。 <p>事務局より資料2について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みやすさを提言していただいたが、今ある多摩市内の小・中学、または高校等のバリアフリーについてどのように考えているかお聞きしたい。 <p>【事務局】</p> <p>都市計画マスタープランは大きなまちづくりの方向性としてご意見を頂戴したいというところだ。学校のバリアフリーについては、公共施設のバリアフリーとなるため、教育委員会の施設の計画などに含まれることであり、こちらの計画で対応する内容ではないと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が避難所などになることが多いので、障がいのある人たちが安心して避難を申請できるようになるために、幼いうちから一緒にいられることは、インクルーシブな部分で大事あることをこれから考えていただきたいと思う。 <p>【事務局】</p> <p>スライド右上の34ページ「安全・安心のまちづくりの方針」「バリアフリーの推進」のところ、方針の構成として、施設や公共空間のバリアフリー化の推進ということが該当することになるかと思う。公共施設空間のバリアフリー化も視点に入れながら、施設整備などをしていかなければいけない。そのため、20年先のまちづくりという中では、今ある建物のかたちだけではなくて、より使いやすいバリアフリー化が重要だと思う。この計画の中でそこを意識しつつ、市の個別計画と連動を図りながら進めていくような方法を選択していきたいと考えている。</p>

- ・バリアフリーに関しては、トイレのスペースをもう少し広くすることが必要だ。全国より多摩市は高齢化率が高いので、やはり市内に利用しやすい公共スペースができるというのは1つ考えていただきたいと思う。
- ・経済的なバックアップが必要である。企業の誘致をして経済的なバックアップを考えていくこと、また企業誘致をすることによって人口増加も考えられるので、企業誘致は大きな柱として1つ置いても良いのではないか。
- ・リニア新幹線について、橋本のほうに駅ができるという話を聞いている。多摩市には桜ヶ丘、永山、多摩センター等あるが、この3つが良いのか、一極集中というのがあるのかということも、リニア新幹線が入ったときの集客、観光というのも含めて、収益はやはり大事だと思った。

【事務局】

トイレの関係については、車椅子用トイレはとても使いにくいものもあるということを知っている。皆さんが使いやすくなるよう、適切な整備が進められていくといいのではないかと感じている。当事者、使われる方々のお声を聞きながら改善していくことが大事かと思っている。

経済の活性化について、24ページのスライドに、「にぎわいづくりの方針」を示させていただいている。例えば都市拠点のところでは、20年後には高度な都市機能が集積し、人々を惹きつけ、新しいものが生み出され、魅力や活力・にぎわいあふれている、3つ目の○では、様々な人々が活動できる場があり、市内外から人が集まっているというような、目指すべきまちの方向性を示しているところだ。

都市計画マスタープランはハードの部分の計画ではあるが、ハードの部分が整えられることで企業の方々も多摩市に来ていただいて、いろいろと事業をしていただくことで市内の経済活性化にもつながることになるだろう。ハードの部分と経済の活性化は切っても切り離せないところがあるので、これから大きくまちが変わっていくところをチャンスにしながら、多摩市に人やものが入ってきてまちが活性化していくことを進めていけるよう、計画に方向性として示していきたいと考えている。

- ・災害発生時に情報が途切れてしまう、届かないということはとても困ることなので、情報アクセシビリティをしっかりとしてほしい。
- ・環境が便利になってきて、駅でも無人改札になり、駅員がいないところが増えた。ただ、障がい者にとって駅で困ったときに助けてもらう人がいないということは、やはりまちづくりにも関係があると思うので、そこも含めて見ていただきたいと思う。

【事務局】

情報のバリアフリーについては、どこまでこの計画に落とし込めるかということだが、例えば

わかりやすい誘導などはまちづくりの中で非常に重要な視点だと考えているので、そういった視点を持ってまちづくりをしていく必要があるかと思っている。

交通ネットワークについて、通結節点等におけるバリアフリー化、市内にわかりやすくピクトグラム等を使った公共サイン、誘導サインというのも出している。また、最近ではデジタルサイネージによってさまざまな情報を提供できるようになっていると思う。

- ・知的障がい者にもわかりやすい案内をお願いしたい。

【事務局】

- ・ピクトグラム等を活用しながらどこまで工夫できるか、具体的にはこの計画にそこまで書けないかもしれないが、都市計画マスタープランの方向性に基づいて取組を進めていきたいと思っている。

- ・できれば資料をワードの状態にさせていただき、文字化したデータを是非いただきたい。障がい者は、ハード面でサポートをしてもらえるといろいろ助かることがあると思う。現状、その辺まで書かれているかがわからないため、データをいただければと思う。

【事務局】

今回ルビありで資料作成をお願いしたところもあり、PDFでも音声読み取りができないようだ。ルビなしだと音声読み取りができるかと思うので、確認をしていただけるとありがたいと思う。

- ・多摩市ではシャッターが目立つところに福祉施設ができる傾向があると思う。20年先を見据えて、本来そういった福祉の機関や建物がどこにあるべきなのかというのが計画的に議論されるという余地が、このまちづくりの議論の中には入ってくるのか。入っていないようであれば、ぜひ入れていただきたい。

【事務局】

都市計画マスタープランは、まち全体のインフラや各エリアのまちの機能について示す計画である。市内の福祉施設のバランスについては、障害福祉課や都市整備部門と意見交換しながらやっているところもある。

<p>2 多摩市障がい者基本計画等について</p> <p>【資料3】 計画原案</p> <p>【資料4】 概要版(案)</p> <p>【資料5】 わかりやすい版(案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントをまた募集されるということなので、委員の皆様にも動向を見ていただいて、また今日の資料もまだまだ膨大なので、ご確認いただきながらご意見をいただければと思っている。 <p>事務局より資料3～5について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都が福祉計画の内容などを変えた場合、それに基づいて多摩市も何か変えなければいけないということはあるのか。 <p>【事務局】</p> <p>東京都も多摩市の計画も、国の基本指針や計画に沿って作成をしているところなので、記載についてリンクする部分はあるかと思う。今後、東京都のほうからヒアリングがあるので、そういうところで記載を合わせながらやっていければと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の93ページ、わかりやすい版の173ページになるが、住宅に関する「支援の充実」というところで、本文のほうでは「居宅生活をするための住宅設備の改善に関する支援については引き続き実施していきます」とあるが、内容がよくわからなかったのわかりやすい版で書くことができなかった。これは例えば、階段をスロープに替えることや、手すりをつけるという住宅改修のサービスのことなのか。 <p>【事務局】</p> <p>住宅設備の改善については、法律に基づいて地域生活支援事業として実施しているものになり、対象としては重度の身体障がいのある方で一定の要件を満たす方となる。工事や住宅設備の改善費用について、市のほうから給付をするという事業だ。わかりやすい版へどう表現できるかについては調整させていただければと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・131ページの「(C)住宅入居等支援事業」は、計画上は「検討」になっている。例えば社会福祉協議会さんにご相談あり・なしというだけではなくて、やはりニーズの拾い上げというのは必要だろうと思う。包括さん、居宅介護事業者さん、障がいの利用者さんなどから入居が困難な方のご相談実績のデータを拾い上げていくということが、計画評価の段階ではやはり必要になってくると思った。 ・132ページの「⑤成年後見制度法人後見事業」についても「実施」ということで数字が入っていないのがいくつかある。成年後見についてのご相談、法人の確保に努めるということだが、多摩南部成年後見センター以外に新しく事業所が1か所できたことや、法人さんのところの
---	---

ご相談内容、例えばどういう機関からどのようなご相談が何件あった、また、相談を受けたが法人として引き受けることができないので他の独立の後見人の方にご紹介したなどといった、やはり評価のときにはそういうニーズを拾い上げておくことが必要なのではないかと思った。こういった各種取組もしているので、そうしたところと合わせてどう評価するかというのは、この計画ができた後また皆様と意見交換させていただき中で、必要な指標やニーズを調べながら、より良い取組にしていければと思っている。

【事務局】

131 ページ「住宅入居等支援事業」は、地域生活支援事業の住宅入居等支援事業としては現時点で実施しておらず、今後検討していくというかたちになっている。それについては 93 ページ施策の「(2)住宅に関する支援の充実」で、多摩市居住支援協議会や、居住支援相談窓口等において取組をしているということで記載している。どう評価するかというのは、この計画策定後にまた皆様と意見交換させていただき中で、必要な指標やニーズについて調べながら、より良い取組にしていければと思う。

成年後見制度についても同様かと思っており、今後取組を進めていく中で必要な実績などのご意見をいただきながら進めたいと思っている。

- ・この計画の手話版、DVD 版をつくっていただけるのか。計画の内容をろう者にもわかってもらいたいので、それに合わせて手話版を作っていただけたらと思う。ご検討をお願いします。

【事務局】

こちらの計画は点訳板と音訳版をつくることになるが、現状、これを手話にした動画等の作成は考えていないところだ。今の手話言語条例の関係で、費用対効果も含めてどのようなかたちが良いのかについて、また相談させていただきながら検討したいと思う。

- ・178 ページ、「SNSなどをつかってただしいさいがいの情報はやく伝えます」と一応書かれているが、どのような方法があるか教えていただきたい。わかりやすい版を作成した際に、例えば市役所のホームページや X(旧ツイッター)などを使って、と詳しく書かせていただいたが、経済的にネットを使えない状況の方もいらっしゃるのではないというのがあり、そのような場合に SNS 以外の方法で伝える手立てがあるのかお聞きしたいと思った。

【事務局】

一番確実なのが、日々お付き合いのある方々、例えば事業所の方々や地域の方々、特に自主防災組織の方々と日頃からつながっていただくことである。日々そういった関係性を築いてい

ただくというのがよろしいかと思う。また、市の防災無線やテレビの情報を活用していただくのがよろしいかと思う。

・今の事務局の回答では 178 ページの SNS の欄の下、普段からいろいろ準備をしてもらったり、と書いてある内容かと思う。

・わかりやすい版について、用語の説明がすぐ近くに書いてあり、その説明も簡潔で短く読みやすいという印象を受けた。そのような構成なので用語説明ページをわざと設けていないのかなと感じたが、わかりやすい版でも用語説明はつからないのか。また、ページ全体でフォントの違いなどあるが変更するのか。

【事務局】

用語でわかりにくい部分については、近くに注意書きを足すことは考えられる。また、フォントや何を平仮名にして何を漢字にするかは、悩みながら作成している。より多くの方にわかっていただけるようなかたちで作成したいと思う。

・以前に、目標数値の書き方を統一してほしいとお願いしたかと思うが、「実施」や「検討」という言葉に置き換えられているかと思う。これらの言葉をどう捉えたら良いのか、意味の使い分けを教えていただきたい。

・110 ページ「地域自立支援法の活性化を図るための実施体制を確保」については、今後、もう少し具体的にこの協議会の中でも議論を進めてほしい。

【事務局】

例えば 103 ページ成果目標の 3、地域生活支援拠点の話で、コーディネーターの配置人数の「検討」は、今まさに地域生活支援拠点部会で検討を進めているところで、なかなか明記はできないが検討を進めている、そういうところを「検討」と書かせていただいている。「実施」については、すでに実施をしている、または実施目途の角度がかなり高くなっているというところは「実施」と書かせていただいている。

自立支援協議会については、国の法改正で変わってくるようになる。個別事例を通じて検討を行えるようにするというので、委員の皆様にも守秘義務を設けること、また外部機関が地域自立支援協議会へ情報提供する努力義務などが定められているなど、さまざま変わっているところがある。そこは来年度以降の自立支援協議会で、効果的な協議内容を事務局から提案させていただき、実施体制について検討していきたいと思っている。計画において、まだそこまでは明記ができないので、このような記載になっていることをご承知いただければと

<p>3 (仮称)多摩市手話言語条例について【資料6】</p> <p>4 その他</p>	<p>思う。</p> <p>・子ども・若者政策課という新しい部署ができるという話だが、どんな役割をするのか教えていただければと思う。</p> <p>【事務局】</p> <p>子ども・若者に関する施策を推進する体制の整備ということで、多摩市の子若条例で掲げる基本理念の実現に向け、子ども・若者に関する政策の比較調整や、施策推進を図るための改正というところになる。子育て支援課を子ども・若者政策課に改称するもの、また幼稚園、保育、認定こども園施策の重要性にかんがみて、子育て支援課の計画推進、保育担当が、子ども・若者政策課、幼児教育・保育担当に改称するというところで、公立保育園担当課長と子育て若者政策担当課長が廃止され、幼児教育・保育担当課長が設置されるということになる。</p> <p>・言葉だけでは難しいので、情報提供の場所がわかれば追加でお聞かせ願いたいと思う。</p> <p>【事務局】</p> <p>本日のご指摘を踏まえて修正をさせていただいて皆様にご確認いただき、3月下旬にこの計画について決定をしたいと思っている。概要版、わかりやすい版についても、それほど遅れないタイミングで決定をして、4月に市ホームページで公表していく予定だ。また、頒布というかたちで冊子でも印刷して販売する予定だ。先ほど申し上げた点字版、音訳版についても随時発行して公表していきたいと思っている。</p> <p>事務局より資料6の説明</p> <p>事務局よりパークライフショーについて説明</p> <p>委員よりチーム医療推進学会について説明</p> <p>事務局より市内事業所向けの説明会開催について説明</p>
--	--

- ・今年度最後の会議になるので、一言ご感想など願います。
- ・報酬改定がのしかかかっていて気が重い。事業所の閉鎖・結合、また後継者問題などで大変な状況になると思う。報酬改定が、少なくともまだ確定はしていないのだという確信を持って、事業所を運営している責任者として、きちんと把握していかなければいけないのかなと思った。
- ・いろいろな話し合いをできてとても良い場だったと思う。まだまだ障がい者理解、ハード面・ソフト面の理解が浸透していないのが現状だと思う。進んで戻る、進んで戻るの状態だが、そういうことは必ずある。改めていろいろ考えていただいて、ご協力していただければと思う。
- ・145 ページの自分の所属について、ただの草むらの会所属なので、親の会という文言を消していただけると助かる。
- ・1年前よりも、2年前よりも、今現在のほうが考えることがすごく増えたなというのを感じている。初めてこの協議会に参加した際、障がい当事者は多くはなくて、まだまだいろいろな視点が足りていないという状況だったが、今年度から新たに委員が増えて、考えることも増えて、このようにして多摩市というのにはできていくのだということを感じている。いい勉強になるし、楽しいなと思って毎回来ている。
- ・105 ページ、募集の 1.31 倍、1.29 倍、B型からの移行率が4人となっているが、これは令和3年度を起点にして●倍としているのだが、B型の多摩市のチャレンジ雇用で短時間雇用の併用などが始まるので、一般就労Bからの令和8年度の目標は4人ではないと思う。
- ・山梨のほうでは、報酬のことも大事だが、雇用ができずに事業所を閉鎖するところが増えてきている。テレビでも放送されていたが、これだけ物価が上昇している中で、障がい福祉サービスで民間の初任給が 25 万円を超えていくような状況になってきて、そんな給料出せないよねという中で、人を雇い続けられるのかということが今回の計画の中に全くない。いわゆる事業所の持続可能性みたいなところが、隣の県ではそれがもう切実で、これから日本で人口が減っていく中で、東京にいれば安心かということそうではないと思うので、そういった点が今回の計画の中で踏み込めなかったのは残念である。
- ・計画策定に携わらせていただき、本当にいい経験になったと思う。当初、私はこの福祉計画とは誰がつくって、誰によって、誰に向けてという疑問を持ちながら参加させていただいたが、話し

合っている最中でも、この福祉分野のことを、市民全体に関わることだと思うが、なぜ専門部署と専門部門の人たちが集まって一生懸命考えなきいといけないのだろうと思いながら参加させていただいた。未だに誰のためのという正解に辿り着いていないが、考えれば考えるほど、私は1つのサービス主体の者だが、少なくとも我々に係ってくる計画や議論なのだなということが実感できた。

- ・多摩市の福祉のことがまったくわからない中で、今回この計画策定に関わらせていただいて、なんとなく多摩市の福祉がこんなふうになり立って、みたいなのところ少し見えてきたかなというところでは、すごく勉強になったと思っている。
- ・今、自分の事業所も来年度の事業計画を作成しているところで、当然、法人の将来構想に沿いながら作成しているが、やはり多摩市内にある事業所なので、多摩市の福祉計画なども念頭に置き、リンクさせながら事業計画もつくっていけると、より多摩市の福祉というのが活性化していくのではないかと思った。
- ・公的な機関がこのようなしっかりとした計画を立てて、それを推進していきますよということとはとても大事なことだが、往々にしてやはり現場の人々というか、1人ひとりの人間の思いであるとか、困り感であるとか、やはりそこに血が通うような施策というか、そういうものが実行可能な施策が、是非1つでも2つでも、今年はこれができたねと皆が喜び合えるようなことが可能な施策を是非定着していきたいと思う。どうしてもこの話し合いで終わるといのがとても残念な思いがしている。もちろん話し合いは大事で、当事者の方の話はなかなか聞けないので、私も本当に勉強になった。ただ、それを現実問題、本当に小さいこと1つでいいので、これができたねというのが実感としてあると、多摩市の皆さんも多摩市やってくれるじゃないかという思いになるので、とても分厚い計画だが、小さいことを1つずつできるように、来年の今頃みんなでこれができたねと確認し合えるといいと思う。私も頑張りたい。
- ・計画だけではなくて、実際にそれをいかに具体化していくかということだ。今年は計画づくりでこの協議会は終始したと思うので、今後は具体化できるといいと思う。最近をよく感じる事としては、本当に声を上げていただく必要があるのに情報を知らないがために声をあげられない方や、そのサポートがないために力をあげられない方、客観的に見て支援が必要という方でも、内容を知らないが故に拒否されてそれはいらないとおっしゃるが、実際に丁寧に説明すればやはり私にはそれがあったほうがいいのかと感じられることもあるかと思う。そういう方々になかなか十分な手が届いていないということに関して、やはり福祉サービスというのは申請制だといわれるが、そうではなくて、支援が必要な方々を掘り下げていく必要はあると思う。この協議会ではそういった方々にも目を向けられるといいなと思っている。また、よろしくお

願います。

・この自立支援協議会では、インクルーシブについて白熱して皆さんで議論できて、皆さんのいろいろな思いを聞いたのもよかったなと思っている。また、地域移行に関しては、地域精神保健医療福祉の社会資源分析データベースというサイトで、多摩市の住所の方が多摩市に1年以上入院している人が109人、八王子市に14人いる。まだ長期化して入院している人たちが、まだまだたくさんいるという現状も何かの機会ですべて知っていただく必要があるのかなと思っている。加えて、リハビリカレッジ多摩のような草の根の活動も始まっているので、うまく地域に出てくる良い循環や、いろいろな社会資源もさらに活用をさせていただけたらと思っている。

・いろいろな方の意見を聞くことができ、いろいろな多摩市の状況がわかって参加できてよかったと思っている。精神の部分でいうと、精神障がい者に対応した地域包括支援システムの構築というのがこの中にも出ているが、精神の方たちにできることを広げていこうという活動があるので、それとリンクするところがあると思うが、次でまとまってくるのかなと思いつつ聞いていた。また、声をあげられない人たちの、支援が届かない人の発見という文言が入って良かったと思うが、そういう支援もできたらというふうに思っている。ありがとうございました。

・自立支援協議会に参加させていただいて本当に良かったと思っている。わかりやすい版の文言も知的障がい者にとっては結構難しい言葉がいくつかあるが、皆さんといろいろと議論させていただいて、本当に良かったと思っている。楽しみにしている。

・なかなか当事者で参加する方が少なかった中で、門を広げてもらっていろいろな立場の当事者の方たちが参加できたのは良かったと思う。この自立支援協議会の中で、地域で生活していくということの大切さというのを伝えられて、皆さんに少しでもご理解いただけたのかなと感じる部分があるので、当事者委員の方たちがこれから先も増えていって、その支援者の方や行政の方といろいろ話ができたらと思っている。ありがとうございました。

・皆様ありがとうございました。視覚障がい者の1人として意見を申し上げたが、いろいろな人の意見を聞いてもらいたい。また今回この都市計画ができたが、これを私たちは使うほうの立場として、計画に基づいてどのような格好で使うことができるのか、また、使い勝手が悪いとき

にどのように変更していただけるのかというのは、とても大事なことであるので、また3年後に見直し、年度ごとに若干の修正があるというお話も伺っているので、不便なことはどんどん私たちも申し上げていって、議題にのせて皆さんにご意見を伺いたいと思う。

・この計画は3年、6年という計画なので、今あることを磨き上げるブラッシュアップという方法もあるが、やはり足りない事業を計画に入れていかないと、なかなかいいものにはなっていないというのが根底にあり、親の会の方ともお話をしてきたが、例えば高齢で入院するときに保証人というのが求められ、死後事務、後見についても、弁護士さん、社会福祉士さん、いろいろな士業さんがいるが、個人の請負を事業として請け負っているという体制がやはり一番必要かと思う。事業として薄いところを計画として盛り込んで、計画に載せることが必要ではないかという考えがもっともであって、この会に参加させていただいた。いろいろお話しさせていただき、本当にありがとうございました。

・この計画を皆さん方の話し合いで考えていけばいくほど、次から次へと課題などが生まれてくると思った。関係性も含めていろいろな方面と繋がりがあるところだと認識している。時代もだいぶ変化してきて、コロナ禍から、今、物価高などで経済状況が悪化している中で、当事者の方々の多くの声を聞きながらまとめられたことは、私にとっても有意義だったと思っている。ただ、今後社会福祉協議会としても、地域福祉を推進していく立場として、地域の方々の声を聞きながら、また寄り添いながら続けていければと思っている。

・本当に皆様のご協力で計画ができた。ただ、一言でいうとまだ歯がゆいところもあり、時間をかけて皆さんの労力を結集したものだが、まだまだだなというのが、今思っている感想だ。一方で、まだまだだということは、これから変わる可能性もあると前向きに捉えて進んでいきたいなど、皆様の感想を聞いて改めて思った。それから、今日の議題にあった都市計画マスタープラン、これは20年後ということなので、この計画の足場を固めつつ、その20年先のことも考えながらまた進んでいきたいと思う。この委員会は令和7年3月31日までが任期となっているので、また来年度もこのメンバーで、いろいろな意見交換をさせていただきたいと思う。それから最後に、誰よりも早く会議の準備をしてくださっている要約筆記の皆様、それから手話通訳の皆様に感謝の拍手を持って会議を終了したいと思う。皆さん、どうもご協力ありがとうございました。

【事務局】

事務局としてかなり丁寧にさせていただいたつもりではあるが、至らぬ点もあったと思っているので、その点をご容赦いただければと思う。今後の希望、継続性についての話もあったが、

サービスの負担がどんどん大きくなって、予算は今も 37 億、40 億というようになってきているのが現状だ。介護保険と違って保険ではないので、一般財源を使用したサービスとして行わせていただくしかない。現実として皆様方のいろいろな希望を叶えていきたいというところで精一杯努力はさせていただいているつもりではあるが、ドラスティックな考え方が進めばいいがはなかなかそういうわけにいかないで、障害福祉課としては、皆様のご意見を踏まえ、現実を見ながら、しっかり、共に行ってまいりたいと思うので、改めてよろしくお願ひしたい。どうもありがとうございました。

～閉会～

以上